

鎌ケ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興		
施策のねらい(めざす姿)	スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	小松崎 佳之

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	スポーツ環境の向上を図るため、陸上競技場の公認取得に向けて備品の整備及びスタンド改修に係る設計を実施する。	③改革・改善内容	鎌ケ谷市総合基本計画第1次実施計画に基づき陸上競技場メインスタンドの改修工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	平成30年度に東初富テニスコートの人工芝張替等の改修工事完了。陸上競技場の改修にあたり、器具庫の設置、競技用備品の購入を行い、第4種公認競技場の認定を受けた。また、メインスタンドの改修工事のための実施設計を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及びスポーツ施設	意図(対象をどうするのか)	スポーツ施設の大規模改修を行うことで、市民の利用が増加している。また、スポーツ団体への切れ目のない支援により、スポーツの振興が図られている。
②施策の概要	スポーツ施設の大規模改修や、スポーツ団体への支援により本市のスポーツ・レクリエーションの振興を図る。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	陸上競技場が全天候型走路及び人工芝インフィールドとなったことで、陸上競技はもとよりサッカー、グラウンドゴルフを年間を通じて利用できる施設となり、特に陸上競技の個人利用が伸びている。今後、市民が気軽に参加できるスポーツ教室の開催を検討しスポーツ人口の増加を図っていく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	陸上競技場を全天候型走路及び人工芝インフィールドとしたことで、第4種公認競技場として認定された。これにより市内小中学校陸上競技大会の開催が可能になった。また、個人利用で大会と同じ条件、且つ公認競技場用の器具を使い、ランニングやハードルの練習が効果的に行えるようになった。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	1年間継続してスポーツをしている市民割合(市民意識調査)	%	22.2	—	—	25.0
	ii	余暇時間にスポーツを行っている市民割合(市民意識調査)	%	11.3	—	—	15.0
	iii						
③基本事業成果指標	i	スポーツイベント・教室参加者数	人	15,640	0	0	15,500
	ii	体育協会登録団体数	団体	28	29	29	増加
	iii	スポーツ施設利用者数	人	308,263	284,532	181,475	340,000
	iv						
	v						
	vi						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)		令和3年度予算		
事業費(千円)	168,449	141,579	(単位:円) 1,294 円		372,318		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	陸上競技場は令和3年度に実施するメインスタンド改修工事をもって一連の改修は終了となるが、市民体育館などの他のスポーツ施設の老朽化も進んでおり、計画的な改修が必要である。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポーツ施設の臨時休館や利用制限によるもの。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	市民体育館は昭和57年設置から約40年が経過し老朽化が目立ってきていることや、地域防災計画上、市庁舎の機能が不十分である場合の移設場所となっていることから、市有建築物長寿命化計画を踏まえた改修を行う必要がある。
③特に重点化する事務事業	体育施設の管理運営に要する経費